

**B 2 6****中級**

(PC 実習あり)

**特許調査・アプローチの真髓**

適切な特許調査におけるテーマ把握

調査目的ごとのヒアリングから検索式策定方法文明細書の読み方

|  |   |
|--|---|
| 講 師  | 馬場 淳子 (元 (株)日本電気特許技術情報センター)   |
| 日 程  | 東京会場  |
|  | 7月19日(金)  |
| 時 間  | 1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45   |
| アクセス   | <a href="http://www.jpds.co.jp/company/access.html">http://www.jpds.co.jp/company/access.html</a> |
| 定 員  | 24名(先着順申し込み)  |
| 受講料(税別)  | 20,000円   |
| 対 象  | 特許調査担当の中級者  |
| <b>内 容</b>   |   |
| <p>特許調査担当者速成講座「特許調査の第一歩」で人気の馬場先生の、演習を中心とした実践研修です。適切な特許調査を実践するには、特許法やデータベースの知識、検索のテクニック以前に、調査で一番大切な「特許調査の目的とその背景」を、きちんと整理・把握することが重要です。</p> <p>特許調査の目的とその背景を確認するためのインタビューの他、サーチャーが考えるべきこと、サーチャーに必要な資質について、皆さんと一緒に勉強したいと思います。</p>   |   |
| <b>プログラム</b>   |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特許調査の真髓 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーチャーのあるべき姿</li> <li>・ 特許調査に必要な5つのポイント</li> <li>・ インタビューのための準備とコツ</li> <li>・ 事業の流れに応じた特許調査の種類</li> </ul> </li> <li>2. 仮想インタビュー(ワークショップ) <p>調査テーマを設定し、インタビューを実践</p> </li> <li>3. 報告書の作成 <p>～データベースを使っでの報告書作成～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告書は誰のもの?</li> <li>・ 起承転結、わかりやすい報告書作成のポイント</li> <li>・ 報告書の活用</li> </ul> </li> </ol> |   |

**【申込み】**

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

**【備考】**

- ・ 商用の特許情報データベース「J P - N E T」による検索実習を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

**【日本弁理士会継続研修について】**

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。